

■キャンパスと組織（2026年度）

○白山キャンパス

文学部 経済学部 経営学部 法学部
社会学部 国際学部 国際観光学部

○赤羽台キャンパス

情報連携学部 福祉社会デザイン学部
健康スポーツ科学部

○川越キャンパス

理工学部 総合情報学部

○朝霞キャンパス

生命科学部 食環境科学部

■「総合知」教育カリキュラム

2025年4月スタート。学生自身が学びを創る“学習者本位の教育”の実現のため、全14学部・約600の専門科目を全学部共通の「全学基盤教育科目」「全学共通教育科目」として開講。学生は興味に応じた科目を学部やキャンパス横断で履修することができる。

さらに、こうした多彩な学びの選択肢の中から自分の学びをデザインするため、AIを活用した「総合知アプリ」も独自開発。主な機能に、①総合知を活かして活躍する卒業生らの多彩な事例を紹介する「事例紹介（Collection）」、②専門や関心、将来像から学問の組み合わせをAIが提案する「学問の組み合わせ紹介（Simulator）」、③興味に基づいて科目を探せる「科目検索（Navigator）」、④履修に関する相談をAIが支援する「AI履修情報検索アシスタント」などがある。



川越キャンパス（埼玉）環境イノベーション学部（仮称）新校舎イメージ図



白山キャンパス（東京）



赤羽台キャンパス（東京）



朝霞キャンパス（埼玉）

大学入試には「大学がどのような学生を求めているか」という方針（アドミッション・ポリシー）が定められており、東洋大学の入試改革は毎年全国から注目を集めています。今年度入試からは、「学校推薦型選抜」として昨年実施した基礎学力

総合型選抜は複数の方式と多面的評価で可否判定

大学入試には「大学がどのような学生を求めているか」という方針（アドミッション・ポリシー）が定められており、東洋大学の入試改革は毎年全国から注目を集めています。今年度入試からは、「学校推薦型選抜」として昨年実施した基礎学力

で独自に開発しました。アプリにはAIが組み込まれており、「自分の専門科目と他学部のこの科目を組み合わせたら、将来どのようなキャリアにつながるのか」などをアドバイスしてくれます。

東洋大学では今年から川越キャンパスのリニューアルが始まっており、2027年度にはここに「環境イノベーション学部（仮称）」の設置を

リニューアルが進む川越キャンパス「いもれびの森」で環境問題を学ぶ

（詳細は誌面上部に掲載の「入試情報サイト」にアクセス。）

「新しい学部では、多くの女子学生の入学を想定しており、川越キャンパス全体に男女が共同して学ぶ文化が育まれると期待しています」と矢口学長は語っています。



矢口悦子学長

1980年お茶の水女子大学文教育学部教育学科卒業。86年同大学大学院人間文化研究科（博士課程）単位取得満期退学。博士（人文科学）。専門は社会教育学、生涯学習論。お茶の水女子大学非常勤講師、千葉大学非常勤講師などを経て2003年より東洋大学文学部教授、社会貢献センター長、文学部長ののち2020年より現職。

哲学者・井上円了が1887年に創立した「私立哲学館」を起源とする東洋大学は数々の改革を推し進め、日本の大学教育をリードしてきました。今年度から始まった「総合知」教育カリキュラムはその原点回帰ともいべきプログラムで、「哲学する力」を通じて、専門を越えた「考える力」を身につけます。

年内に実施する学校推薦型選抜として導入した「基礎学力テスト型入試」も、今年からは「総合型選抜」として基礎学力テストと書類選考の合計点による多面的評価で可否を判定します。

赤羽台・朝霞両キャンパスに続く川越キャンパスのリニューアルも始まり、2027年度新設予定の「環境イノベーション学部（仮称）」の設置構想も進むなど、先導的な大学改革を展開する矢口悦子学長に、その教学の理念やねらいなどについて伺いました。

東洋大学

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 入試部 <https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>

他学部の約600科目を受講可能な「総合知」という学びが始動

東洋大学は14学部51学科・専攻を擁するわが国屈指の総合大学ですが、そのスケールメリットを生かすべく、今年度から「総合知」教育カリキュラムを導入しました。

東洋大学という「総合知」とは、多角的な視点から物事を深く考え、自己と他者の知識を重ね合わせて総合的に判断する力を指します。これまでは、大学における専門の授業は、学生の所属する学部・学科の開講科目に限定されていましたが、「総合知」教育では、全学部の開講科目のうち約600科目を、学生一人ひとりが自分の興味関心や将来像に応じて自由に選択し受講することができ、つまり、学部・学科の専門性だけにとらわれない、多様な学習体験を重ねながら学んでいくことができるのです。

「大学教育の改革を進めていく中で、『東洋大学に入学したら○○先生の授業を受けたい』と思っていたのに、自分の学部ではその先生の授業

が開講されておらず、残念だった」という学生の声が届きました。私たちはコロナ禍を経験したことで、全教員ともオンライン・オンデマンドの授業に対応できるようにになりましたが、さらに一歩進めて、所属する学部で基礎を学びつつ、他学部の授業も履修できる仕組みを作れないだろうか。学生自らが科目を選べるようにすれば、在学生全員で3万パターンの学びが生まれるのではないかと、そう考えた結果生まれたのが、この『総合知』教育なのです」と矢口悦子学長は説明します。

専門分野を基礎に、他学部の科目をキャンパス横断的に履修

現在始動中の「総合知」教育の実施状況について調べてみると、1年生全体の9.3%、734名の学生がこの「総合知」教育を活用して他学部の授業を受けていることが分かりました。例えば、文学部の東洋思想文化学科に所属する学生が、他学部の授業をオンデマンドで受講するとか、川越キャンパスの理工学部の学生が、白山キャンパスのドイツ語の授業を受講するといった例が挙げられます。

学部横断的に科目履修をする学生には、所属学部の必修科目をこなした上で、なお余力があるような高いレベルが想定されますが、新入生の1割近くがこの制度を利用している現状には、極めて良好な手応えを感じていると矢口学長は話します。

テスト型入試を「総合型選抜」に変え、基礎学力テストと書類選考の合計点による多面的評価によって可否を判定します。

「昨年初めて導入した学校推薦入試では約2万人に及ぶ受験生が受験し、入学率も想定以上に高く、本学が求める学生に入学してもらうことができました。年内入試では高校時代の基礎学力が評価されますが、学びの基本さえ身につけておけば、その先は大学で取り組むことが可能です。変化の激しい現代においては、高校時代に考えた将来像が大学卒業まで変わらないことはまずありません。だからこそ、総合型選抜も活用し、『総合知』を養う本学で飛躍してほしいと思います」

この基礎学力テストは「英語と国語」または「英語と数学」の2科目で行われ、全学部統一の問題です。得意科目に合わせて配点が異なる判定方法を選択できます。英語は外部試験のスコアを利用することもできます。書類選考では、事前課題として小論文が課されます。また、一般選抜などさまざまな併願も可能です（詳細は誌面上部に掲載の「入試情報サイト」にアクセス。）

「レベルの高さが求められるのは、学生だけではなく、むしろ教員ではないかと考えます。専門を極めた先生であれば、他学部の学生にも対応した授業を行うことができるはず、という意識で大学が丸となったこの新たな教育改革を進めています」

「哲学の東洋」という原点に返り、哲学する力「考える力」を養成

「本学における全学部共通の教育基盤は何かという点、それは哲学なのです」と矢口学長は説明します。哲学は全学必修で、東洋大学の教育の中心に位置付けられています。「ここで言う哲学とは、学問のジャンルではなく、『哲学する』ということ、つまり『深く考える』という行為こそが哲学なのだ」と学生には伝えていきます。そして、その哲学の基盤に則っているのが『総合知』教育カリキュラムなのです。

生成系AIが、あらゆるデータを記憶して取りまとめてくれる情報化社会にあつて、最後に問われるのは「なぜそれを使うのか。それを使うことはいいことなのか。人間としてどう判断すべきなのか」ということ。熟考し、決断する力が不可欠なのだ」と矢口学長は指摘します。ただ知識を蓄えるとか、言われた通りに行動するだけでは、とてもAIには太刀打ちできません。

東洋大学では、この「総合知」教育カリキュラムを始めるに当たり、履修指導をするためのアプリを学内

構想しています。

「川越キャンパスには『こもれびの森』という、その名のとおり美しい環境があります。環境について考えるにはうってつけのキャンパスだからこそ、新学部の構想が生まれました」と矢口学長。環境イノベーション学部では、環境問題にデジタル技術やICT、データサイエンスを融合させる次世代型の教育を提供します。

エネルギー消費実質ゼロという「ZEB仕様」の新校舎のもと、環境・エネルギー問題に関する科学的知識と、デジタル技術やデータサイエンスの活用に向けた基盤的な知識やスキルを獲得。3年次からは「環境創造コース」と「科学コミュニケーション」に分かれ、専門性と課題解決力を高めます。東洋大学の理念である哲学的思考や「総合知」との融合も重視し、持続可能なグリーン・デジタル社会を見据えた人材育成を目指します。

「新しい学部では、多くの女子学生の入学を想定しており、川越キャンパス全体に男女が共同して学ぶ文化が育まれると期待しています」と矢口学長は語っています。